

世界へ羽ばたく サーマルダイレクトプリンター 安全・環境・省力化を提案

シンメイ

http://www.co-shinmei.com

シンメイ(台東区台東、吉井貞夫
社長、03・3831・3921)

は、産業用の各種プリンター・ラベ
ラー・押印機の開発・販売・保守を
業としており、取引先は、食品業界
から、銀行、病院、鉄道、官公庁と幅
広い。電車の遅延証明書の発券機
や冷凍食品などのフィルム印字、
手形小切手への署名捺印機など、
ニッチな市場に応えるための確か
な技術力を備え、様々な業界・企業
を相手にビジネスを展開してい
る。しかも、通常では商品開発に2
年ほどかかる所、素早い機動力を
駆使して2カ月程度で対応できる
強みを持っている。

同社は経営理念として「安全」
「環境」「省力化」の三点を掲げてい
る。

「安全」については、食料品の印
字システムでは賞味期限の印字等
に正確性を求められるため、日付
が間違っていないかをチェックす
る機能を開発した。停電や落雷等
に起因するシステム障害について
も、対応できる機能を構築するな



当社の主力商品サーマルダイレクトプリンター
「CPS-354PROII」

ど、安全
性の追求
を行って
いる。

「環境」



「不可能を可能にする」を
モットーとしている吉井社長

は、廃棄物の出ない印字方法を取
引先に提案。従来商品の内容表示
等は、ラベルに印字を行いフィル
ム等に添付していたため、使用済
ラベルの産業廃棄物処理のコスト
や環境に与える影響は大きかつ
た。同社の提案する「サーマルダイ
レクトプリンター」は、フィルムに
直接印字できるため、ラベルの廃
棄物がなく環境にやさしい印字方
法である。また、廃棄物処理の必要
がなくなるため、生産コストを押
さえる「省力化」も兼ね備えている。
さらに、同社では「ラベルには台紙
が付いている」という固定観念を覆
し、印刷したラベルを直接貼付でき
る台紙の無いラベル貼付機の開発
に成功。今後の主力商品として期待
を寄せている。

吉井社長は、「どこにでも当社の
ビジネスチャンスがある」と言い、
今後の開拓市場として中国、東南
アジア等海外に着目している。環
境にやさしい印字システムは海を
渡りそうだ。「固定観念にとらわれ
ず、不可能を可能にするという
モットーで、今後もお客様のニー
ズに応えたい。どんなことでも相
談して欲しい」と熱い想いを語っ
てくれた。

詳しくはホームページにて

(<http://www.co-shinmei.com>)